

「大江天主堂(左)と崎津天主堂(右)」／山下克己さん(熊本市在住・本市亀場町出身・作)

主な内容

- 男女共同参画社会ってどんな社会? .. 2~3
- 天草市“この1年” .. 4~5
- 秋のわだい満載! .. 6~7
- 宝島の話 .. 8~11
- みんなの広場 .. 12~15

平成19年

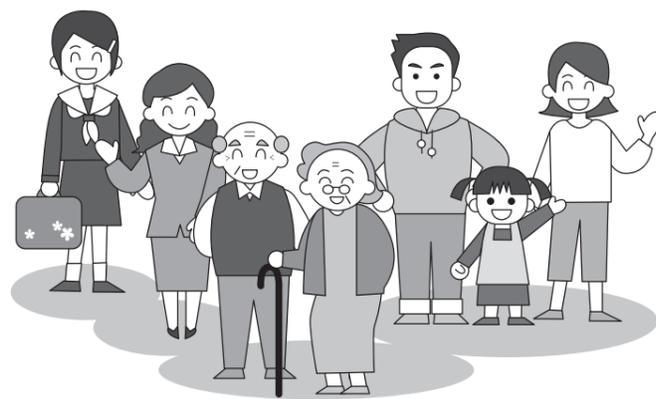
12

1

No.40

男女共同参画社会って どんな社会？

～「女と男、ともに創り ともに輝くまち」を旨として～



市では、今年1月1日、「天草市男女が共に生きる社会づくり条例」を施行し、2月17日には「男女共同参画宣言都市」となるなど、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進していくこととしています。

今号では、男女共同参画社会とはどんな社会か、あらためて考えるとともに、性差別や性別による固定的な役割分担意識などの解消に向けた身近な取り組みなどについて紹介します。

男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、男性や女性といった性別によって生き方が決められるのではなく、各自の個性や能力に応じてさまざまな生き方を選択できると同時に、男女ともに責任を担っていく、みんなが生きやすい社会のことです。

今の社会は男女共同参画社会ではないの？

日本では、男女平等を実現するための法律や制度の整備は進んできました。しかし、実際には、「夫は外で仕事をし、妻は家庭を守る」「〇〇は男性の仕事、△△は女性の仕事」などという固定的な役割分担意識が依然として残っており、男女共同参画社会づくりの妨げとなっています。

男女共同参画で何が変わるの？

男女の権利が尊重され、性別による固定的な役割分担意識

識などがなくなり、男女共同参画が進むと、次のようなことが出来るようになります。

☆「男だから」「女だから」と性別によって生き方を決めつけられることがなくなり、各人の個性や能力に応じてさまざまな生き方が選べるようになります。

☆男性だけで物事を決めていた場に女性が参画することで、多様な意見や価値観を踏まえた判断ができるようになります。

☆職場に女性が進出することで、責任を分かち合い、男性も女性も、仕事と個人生活とのバランスがとれた働き方ができるようになります。

☆家庭や地域活動に男女がともに参画することで、地域活動などが活性化します。

私たちが取り組めることは

男女共同参画社会の実現に向けて私たちが取り組めることを、家庭や地域、職場などで実践していきましょう。

【家庭で】家族みんなで積極的に家事や子育て、介護などを行い、喜びや楽しみを分かち合いまししょう。

【地域で】家庭の中でも男女共同参画について考え、子どもたちの個性や能力を生かした進路選択ができるよう支援しましょう。

【職場で】男女平等・対等の視点で、社会の慣習やしきたりを見直しましょう。

【暴力は人権侵害であること】を認識して、被害者の立場に配慮しながら支援しましょう。

【各種団体やNPO、行政は、協力し合って男女共同参画社会づくりを進めましょう。】

【職場で】男女平等の重要性を理解し、就業や雇用の分野での均等な機会と待遇の確保に努めましょう。

「全国男女共同参画宣言都市サミット in おおつ」に天草市が参加！



▲平成18年度に新たに男女共同参画宣言都市となった6市町と開催市が現状や取り組みを紹介

「家庭・職場・地域で男女共同参画をすすめよう」をテーマに、全国男女共同参画宣言都市サミットが11月2日、滋賀県大津市で開催され、天草市から安田市長がパネリストとして参加しました。

このサミットは、国と各宣言都市、地域住民とが連携・交流を深め、全国レベルで男女共同参画に対する意識の高揚を図ることを目的としています。安田市長は、天草市における男女共同参画社会の必要性と、市民と行政が協力し合って、男女共同参画の取り組みを進めていくことなどを、力強くアピールしました。

- 女性の能力活用の重要性を理解し、職業能力の開発や能力発揮の支援に努めるとともに、能力のある女性に管理職や役員などに積極的に登用しましょう。
- 仕事と育児や介護の両立支援のため、就業条件の整備に努めましょう。特に、女性の再就職や職場復帰のための労働条件の整備に努めましょう。
- 長時間労働の是正など、働

- き方の見直しにより、男性の家庭や地域活動への参画を進めましょう。
- セクシュアル・ハラスメントの防止に努めましょう。
- 【自分自身へ】
- 自分の個性や能力を生かすため、さまざまな分野へ挑戦しましょう。
- 能力の開発や発揮に努め、職場での管理職や、地域での方針を決定する立場などに女性も積極的にチャレンジしましょう。
- 市民一人ひとりが、政治や

仕事、ボランティア活動などさまざまな分野への女性の参画に対する理解を深め、活躍の場が広がるよう支援しましょう。

□ 男性の皆さんも「男らしさ」や「男はこうあるべき」などの性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、いろいろな生きがいを見つけましょう。

※詳しいことは、本庁・男女共同参画室 ☎1111 内線1317へお尋ねください。

「男女共同参画計画(素案)」へ皆さんのご意見を！

市では、男女共同参画社会を実現するため、男女共同参画審議会（市民15人で構成）を設置し、「男女共同参画計画」の策定に向けた協議を重ねています。

同審議会ではこのほど、同計画の素案をまとめました。この素案に対する市民の皆さんのご意見をお聞かせください。素案の閲覧場所とご意見の提出方法は次のとおりです。

■男女共同参画計画(素案)の閲覧場所＝本庁・男女共同参画室、各支所・総務振興課、市ホームページ。

■意見の募集期間＝12月25日まで（郵送の場合は当日消印有効）。

■意見の提出方法＝同計画（素案）についてのご意見と住所、氏名、年齢、性別を記入し、郵送またはFAX、電子メールで本庁・男女共同参画室へ提出してください。

【郵 送】〒863-8631（住所記載不要）
天草市役所・男女共同参画室
【FAX】④3501
【電子メール】danjyokyodo@city.amakusa.lg.jp

【公聴会を開催中】

同計画の素案の説明や意見交換を行う公聴会を11月から開催しています。12月に行う公聴会の日程は下表のとおりです。ぜひご参加いただき、皆さんのご意見をお聞かせください。

◆男女共同参画計画(素案)の公聴会日程		
と き	と ころ	
12月6日(木)	19:30～	高浜公民館（天草町）
7日(金)	10:30～	倉岳支所2階会議室
	15:30～	牛深支所2階会議室
19日(水)	9:00～	河浦支所2階大会議室

【問い合わせ先】

本庁・男女共同参画室（内線1317）

天草市“この1年”

～平成19(2007)年の出来事を振り返る～

今年も残すところ1カ月。この1年、本市ではさまざまな行事や出来事がありました。天草市の“この1年”を振り返ってみましょう。

6月

- 1日～ 県の早産予防対策事業のモデル地域に天草地域が指定される。
- 21日 市議会定例会で「暴力追放都市宣言」決議を採択。
- 28日 イルカの飛行機「ダッシュ8」の搭乗者が60万人を突破。

7月

- 1日 ㈱天草宝島観光協会が発足。
- 26日 九州地区漁港漁場大会が天草市民センターで開かれる。
- 27日 ㈱日本ポリグルとの立地協定調印式を行い、河浦地区に水質浄化剤製造工場が新設される。
- 28日 牛深ハイヤ祭り実行委員会が(財)地域伝統芸能活用センターの地域伝統芸能大賞・地域振興賞を受賞。
- 29日 参議院議員通常選挙。

8月

- 1日～ 市長が各支所で1日公務につく“移動市長室”を実施。
- 16日 牛深地区で「成人式」を開催。新成人161人が出席。
- 28・29日 第22回五足の靴顕彰全国短歌大会を開催。

9月

- 2日 大江・崎津教会などの世界遺産登録に向け、「天草の宝を世界遺産へ～キックオフ・シンポジウム～」を開催。
- 6～9日 第38回全国ママさんバレーボール大会で“天草BB”が総理大臣杯優勝に輝く。
- 7日～ 金婚夫婦275組を表彰。

10月

- 5日 マクロシステム㈱との立地協定調印式を市役所で行う。
- 6日 天草ほんどハイヤ祭り「道中総踊り」を開催。
- 28日 本市深海町出身の名大関「栃光」を顕彰し、ドキュメンタリードラマを放映。

11月

- 1～5日 「天草大陶磁器展」を開催。
- 3日 河浦地区の天然温泉「愛夢里」の入場者が100万人を突破。
- 11日 くまもと・みんなの川と海づくり県民大会を有明町民センターで開催。
- 19日 本市の戸籍を電算化(本渡・有明地区は電算化済み)。



6/2～10 天草花しょうぶ祭りを西の久保公園で開催。約46,000人の人出でにぎわう



7/29～8/2 姉妹都市・米国エンシニタス市の高校生ら4人が本市を訪れ、中学生などと交流を深める



8/25～ 五足の靴百周年記念特別展を天草ロザリオ館で開催(～平成20年2月29日)



9/8 松島有明道路(熊本天草幹線道路)が開通



2/11 第33回郡市対抗熊日駅伝大会で天草市チームが5位入賞



3/25 天草市合併1周年記念式典を開催



4/20～22 第36回牛深ハイヤ祭りを開催。約65,000人の観光客らでにぎわう



5/20 第23回天草国際トライアスロン大会を開催。国内外から512人のトライアスリートが参加

1月

- 3・4日 本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和・天草・河浦地区で「成人式」を開催。合計907人の新成人が出席。
- 7日 消防出初式が本渡運動公園陸上競技場で行われ、市消防団員など約1,200人が参加。

2月

- 4日 牛深ミュージックプレイヤーズクラブが、NHKのバンドコンテスト「第10回熱血! オヤジバトル」でグランプリに輝く。
- 8日 宮地岳営農組合が、第47回県農業コンクールで最高賞の秀賞と農林水産大臣賞を受賞。
- 16日 第1次天草市行政改革大綱を策定。
- 17日 本市が男女共同参画宣言都市に。
- 26日 第12回くまもとアートポリス推進賞表彰式で、西の久保公園が同賞を受賞。

3月

- 23日 第1次天草市総合計画を策定。
- 26日 新和小学校少年消防クラブが「平成18年度優良少年消防クラブ団体の部表彰」を受賞。
- 28日 高浜小学校校舎落成。

4月

- 6日 IT企業・武蔵株式会社との進出協定調印式を市役所で行う。
- 7日 第2回天草戦没者追悼式を実施。
- 8日 熊本県議会議員選挙。
- 27日 河浦地区で本市で初めての「光化学スモッグ注意報」が発令される。その後、2回発令。

5月

- 1日～ 本渡・牛深エリア間で電話する際の市外局番のダイヤルが不要に。
- 6日 本渡港～御所浦港～水俣港を結ぶカーフェリー「第三かまがり」が最後の船出。
- 8日 本市のWebの駅・天草情報タワー構想が総務省の地域ICT(情報通信技術)活用モデル構築事業として委託決定。
- 10日 御所浦地区が「日本の地質100選」に選ばれる。
- 13日 「天草市総合防災訓練」を有明地区で実施。
- 21日 特色ある地域振興策を支援する国の地域再生計画に、本市の「廃校舎を保健・福祉などの向上のために活用する計画」が認定される。

秋のわだいに満載！

受章おめでとうございます — 危険業務従事者叙勲、秋の褒章・叙勲 —



早坂 保男 さん
川原町・74歳
瑞宝双光章
元天草消防組合消防司令長



田中 正友 さん
亀場町亀川・78歳
藍綬褒章
県指定自動車教習所協会会長



千葉 芳茂 さん
下浦町・64歳
藍綬褒章
保護司



久保 進一郎 さん
有明町大浦・76歳
旭日小綬章
元有明町長



竹口 英園 さん
河浦町新合・83歳
旭日双光章
元河浦町教育委員会委員長



中村 矩眞 さん
小松原町・80歳
旭日双光章
元天草郡市医師会会長

危険業務従事者叙勲が10月12日に、秋の褒章と叙勲が11月1・2日にそれぞれ発表され、市内から6人の方が受章されました。おめでとうございます。

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は危険業務従事者叙勲、◎は秋の褒章、◎は叙勲。

天草・島原の乱で亡くなった人々を慰霊

— 天草殉教祭 —

10月21日、1637年に起きた天草・島原の乱で亡くなった人々を慰霊する「天草殉教祭」が行われました。

殉教戦千人塚で仏式法要とカトリックミサがそれぞれ行われた後、夕暮れにはキャンドル行列が行われ、信徒や市民など約400人がキャンドルを手に市街地を行進。乱の激戦地となった町山川に架かる祇園橋では、キャンドルの幻想的な明かりが灯る中、亡くなった人々の慰霊と平和への祈りを捧げていました。



▲マリア像に花びらをかける子どもたち

心に響く子守唄に耳を傾ける

— 福連木子守唄 & 童謡まつり —

子守唄の保存・継承に取り組んでいる福連木地区で11月11日、恒例の「福連木子守唄 & 童謡まつり '07 in 天草」が開催されました。

会場の福連木子守唄公園には家族連れなど約3,000人が来場。福連木子守唄保存会による福連木の子守唄や五木の子守唄、大浦の子守唄など哀愁漂う歌声に耳を傾けました。また、各地区が構えた出店には地元の特産品が並び、ふるさとの味を買い求める人でにぎわっていました。



▲福連木の子守唄を披露する保存会の皆さん

10月から11月にかけて、市内各地でさまざまな催しが行われました。今号では、「天草大陶磁器展」などの催しのほか、秋の褒章・叙勲などを受章された皆さんをご紹介します。

陶磁器の島に多くの人出！

— 天草大陶磁器展 —

県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が11月1日から同5日まで、天草市民センター体育館を主会場に開催されました。

この大陶磁器展では、天草島内をはじめ、県内外から71の窯元や陶芸家などの作品約15,000点を一堂に展示・販売。期間中、約27,000人が会場を訪れ、熱心に品定めしていました。

また、初日には同センターホールで「陶磁器の島AMAKUSA陶芸展」の表彰式とパネルディスカッションを実施。パネルディスカッションでは「個性を考える」をテーマに、パネリストの女優の宮沢りえさんや陶芸家の黒田泰蔵氏、アーティストの日比野克彦氏、本市出身のイラストレーター・鶴田一郎氏などが、仕事への思いなどについて語りました。

なお、今年度は、黒田泰蔵氏など一流の芸術家を招き、地元陶芸家との交流を図る「アーティスト・イン・レジデンス in AMAKUSA」も実施。同2日には、黒田氏による公開制作やアーティストトークなども行われました。



▲作品を手に取りながら熱心に品定め ▲ろくろ回しに挑戦



▲パネルディスカッションには女優の宮沢りえさんも参加 ▲期間中は約27,000人が来場！

【陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果】(敬称略)

- グランプリ…該当者なし ●準グランプリ…六平(本名・長澤一則/佐賀県武雄市) ●日比野克彦賞…小松野洋介(上天草市) ●小川哲男賞…里見武士(福岡県東峰村) ●藤原恵洋賞…望月優(佐賀県有田町) ●鶴田一郎賞…安倍伸子(合志市) ●黒田泰蔵賞…鈴木美加(天草市天草町) ●宮沢りえ賞…出口文教(熊本市) ●来場者賞…太田富隆(福岡県東峰村)

心をさらに豊かにする読書

— 子ども読書フェスティバル —

10月27日、「子ども読書フェスティバル」が天草市民センターホールで行われました。五和東中学校の生徒が「千の風になって」の演奏と朗読を、本渡中学校の生徒が「ことば」にまつわる劇を披露した後、直木賞作家の重松清氏が講演。重松氏は「読書ばかりしていて友だちがいないというのは心が豊かとはいえない。読書はさまざまな経験を積んだうえで、心をさらに豊かにするもの」などと語られ、約700人の聴衆は熱心に聞き入っていました。



▲重松 清氏



▲熱心に聞き入る皆さん

『五足の靴』は日本近代文学の始まり

— 五足の靴来島100周年「文芸講演会・シンポジウム」 —

11月10日、五足の靴来島100周年「文芸講演会・シンポジウム」が天草市民センターホールで開催され、市内外から約150人が参加しました。(社)天草宝島観光協会などの主催。講演会では、直木賞作家の出口根達郎さんが「若い青年たちが旅をしながら作り上げた『五足の靴』こそ、日本近代文学の始まり」と話されたほか、シンポジウムでは出口根さんや熊本保健科学大学の小野友道・学長らが、文学や映画を通じた天草の魅力について意見交換しました。



▲シンポジウムでは「天草の宝を探す」をテーマに意見交換



▲観客が見守る中、いよいよ試合開始！

秋のビーチも大にぎわい

～ビーチドッジボール世界大会 in 天草～

10/28
有明

10月28日、「第2回ビーチドッジボール世界大会 in 天草」が四郎ヶ浜ビーチで開催されました。

この大会は、「シーズンオフのビーチをどのように活用するか」をテーマに、昨年から有明町商工会が企画し、開催しているものです。今大会には、市内外から41チームが参加。小学校低学年の部、小学校高学年の部、一般の部の3部門に分かれ、慣れない砂浜でのプレーに足をとられながらも熱戦を繰り広げました。



▲コース途中に設けられたクイズに挑戦

100年前に文人がたどった道を歩く

～五足の靴ウォークラリー大会～

11/3
天草

11月3日、五足の靴文学遊歩道など4.7kmのコースを歩く「五足の靴ウォークラリー大会」が開催され、市内外から202人が参加しました。これは、五足の靴文化の里づくり実行委員会が毎年開いているもので、今年で5回目。参加者は、五足の靴一行5人が100年前に歩いた上り下りの山道を歩き、息を切らしながらも、コース途中のチェックポイントに設けられたクイズやゲームに挑戦。また、木々の合間から見える天草西海岸の絶景を楽しんでいました。



▲100万人目となった松下正己さん(=写真左)に池田裕之・取締役(=同右)が記念品を贈呈

『愛夢里』の入場者が100万人突破

～天然温泉「愛夢里」～

11/3
河浦

総合交流施設「愛夢里」の入場者が11月3日、100万人を突破しました。この記念すべき100万人目となったのは牛深町の松下正己さん(67歳)。「愛夢里」の池田裕之・取締役から、来年4月末までの半年間、温泉が無料で利用できるフリーパス券などが贈られました。松下さんは、「思いもせずびっくりしました。雰囲気が良いので週1回は来ています。“あんこう鍋”の食事や宴会プランなどもあるので、妻と食べてみたい」と話していました。



▲タイを釣り上げ喜ぶ参加者

ねらうは大物！

～深海タイ釣り大会～

11/4
牛深

11月4日、深海町の沖合で深海地区振興会主催のタイ釣り大会が開催され、県内外から約130人が参加しました。参加者は遊漁船に乗り込み、午前7時前に深海漁港を出港。正午までの約5時間で釣ったマダイの大きさや魚の総重量を各船ごとに競いました。大物賞は重量約3kgのマダイを釣り上げた河浦町の久保滋さんのチームが獲得しました。

このほか、子どもたちを対象にしたシーカヤックや伝馬船の体験乗船も実施されました。



Treasure Island Topics 宝島の話題



▲地区対抗の綱引きで勝利を目指し、懸命に綱を引きます

地区住民が一致団結！熱戦を展開

～御所浦町民体育祭～

10/14
御所浦

10月14日、第32回御所浦町民体育祭が「みんなの心を一つに未来へ羽ばたけ恐竜の島」をテーマに、御所浦小学校グラウンドで開催されました。鼓笛隊の先導で選手が入場した後、親子三代による選手宣誓。踊りや各種リレー、綱引き、住民がイノシシにふんする仮装行列など29種目で熱戦を繰り広げました。観客からは盛んな声援と拍手が送られ、最後は参加者全員で御所浦音頭を踊り、なごやかな1日を過ごしました。



▲キャンドルを手にナイチンゲール誓詞を斉唱する看護学生

新たな決意をもって…

～市立本渡看護専門学校戴帽式～

10/19
本渡

看護師を目指す看護学生の一つの区切りとなる「戴帽式」が10月19日、市立本渡看護専門学校で行われました。

今年4月に入学した17期生40人は、純白のナースキャップを付けてもらった後、キャンドルを手にナイチンゲール誓詞を斉唱。その後、学生を代表して濱田舞さんと原田麻世さんが「知識や技術、豊かな人間性を高め、切磋琢磨しながら看護の道を精一杯歩んでいきたい」と誓いのことばを述べ、決意を新たにしていました。



▲竹灯りの中でのお茶会

やさしい灯りに包まれて

～御領石竹秋宵まつり～

10/20・21
五和

10月20・21日、御領門前町商店街一帯などで「御領石竹秋宵まつり」が開かれました。これは、御領まちづくり振興会が「『住民総参加』での取り組みを」と企画したもので、今年で2回目。市指定文化財の石本家屋敷も竹灯りの設置箇所に加わり、総数5,000本の竹灯り・石灯りのやさしい灯りが訪れた人々を癒しの空間へと導きました。また、細かな細工がされた竹灯りや陶器の灯りの展示や御領公民館自主サークルなどによるコンサートも行われました。



▲ウミガメの保護活動のようすを発表する高浜小学校の4年生

みんなで守ろう 宝島の水環境

～くまもと・みんなの川と海づくり県民大会～

11月11日、「くまもと・みんなの川と海づくり県民大会」が有明市民センターで開かれ、市内外から約200人が参加しました。大会では、栖本中学校など川や海の保全活動団体の表彰や高浜小学校4年生によるウミガメ保護活動の発表、九州大学の野島哲・准教授による天草の海の現状報告、パネルディスカッションが行われました。また、展示コーナーでは、水生生物の観察や写真展も行われ、天草の美しい川や海を見つめ直すきっかけとなりました。



▲安田市長に優勝報告(写真左から小田真美さん、吉川貞子さん、安田市長、福富光生さん)

本市の3選手が全国1位に!

～全国障害者スポーツ大会～

「第7回全国障害者スポーツ大会」が10月11日から16日まで、秋田県で開催され、本市から吉川貞子さん(牛深町)と小田真美さん(城下町)が陸上競技のソフトボール投げに、福富光生さん(栖本町)が水泳競技の25m・50m自由形の2種目に、県代表として出場。3選手とも見事、1位に輝きました(この大会は、障害種別・程度・年齢別で実施)。福富さんは、「皇太子殿下の前で優勝することができ、うれしかったです」と喜びを語られました。



▲一斉にスタートする男子の部1区の選手たち。ナンバーカード26は本渡東中学校の金子大志選手

本渡東中学校が男子の部で準優勝!

～熊本県中学校対抗駅伝競走大会～

熊本県中学校対抗駅伝競走大会が11月9日、本渡運動公園陸上競技場を発着とする男子6区間20km・女子5区間12kmのコースで開催されました。同大会には、各郡市の予選を勝ち抜いた男女各27校が出場。本市から男子4校(本渡東・稜南・牛深・本渡)、女子3校(本渡・牛深・五和西)が出場しました。男子の部に出場した本渡東中学校は、選手全員がサッカー部員ながら準優勝と大健闘。12月1日に鹿児島県指宿市で開催される九州大会に出場します。

初期消火活動の訓練を披露

～屋内消火栓操法大会～

11月10日、本渡運動公園陸上競技場で「第12回屋内消火栓操法大会」が行われました。同大会は、自衛消防隊の初期消火活動の技術向上を目的に2年に1度開催。天草島内の事業所や高校など男女合計33チームが参加。3人1組で屋内消火栓を可動し、想定された3カ所の火点へ放水、その速さと操作の正確さを競いました。優勝は男子の一般が愛愛園(倉岳町)、男子の高校が天草西校・重量挙げ部(天草町)、女子の一般・高校が御所浦苑(御所浦町)でした。



▲想定された火点をめがけて勢よく放水!



▲地元のこっば劇団が倉岳弁を生かした「こっば劇」を披露

文化・芸術に触れ、文化の秋を満喫

～浦地区ステージ発表会～

11/4
倉岳

浦地区ステージ発表会が11月4日、浦小学校体育館で開催されました。これは、舞踊や大正琴などの文化サークルの発表の場を設けるとともに、地区の皆さんに文化や芸術に触れてもらおうと開催されているもので、今年で7回目。中国からの留学生による歌や地元のこっば劇団による倉岳弁での劇などが披露され、約200人の観客は笑いと感動に包まれていました。また、秋祭りの写真展や竹細工などの展示も行われ、訪れた人は文化の秋を満喫しました。



▲こっば像の完成を祝い、栖本保育所の園児が「へのこっば音頭」を披露

「日本一の親子こっば」誕生!

～栖本地区のシンボルが完成～

11/4
栖本

11月4日、栖本まちづくり協議会が栖本のシンボルにと、地区住民の募金などで建立した「こっば像」の除幕式が行われました。この像は、湯船につかる3匹の親子こっばを表現。御影石を使い、重さ約20t。高さは父こっば2.6m、母こっば2.2m、子こっば1.4m、石造りのこっば像としては日本一の大きさです。式典では、栖本保育所の園児が「へのこっば音頭」を初披露。かわいい衣装に身を包んだ子こっばの登場に、訪れた人たちも大喜びでした。



▲河浦高校の生徒に手伝ってもらいながらイモ掘りを楽しむ園児たち

大きなイモがたくさんとれたよ

～一町田保育所の園児が河浦高校へイモ掘り遠足～

11/8
河浦

11月8日、ぽかぽか陽気の中、一町田保育所の4・5歳児26人が、河浦高校へイモ掘り遠足に出かけました。これは、同校のサツマイモ畑を園児たちに開放し、生徒と触れ合いながら収穫を楽しんでもらおうと計画。園児らは、お兄さんやお姉さんといっしょにサツマイモを掘り上げました。中には自分の顔より大きいイモもとれ、子どもたちは大喜び。用意されていた焼きイモと収穫したサツマイモのおみやげを、園児らはうれしそうに持ち帰りました。

炭づくりで地域に貢献

～「ひま陣会」が炭の初窯出し～

11/12
新和

碓石地区振興会会員13人が、地域のために役立とうと今年9月に「ひま陣会」(新木富雄代表)を発足。同会による炭の初窯出しが11月12日に行われました。これは、同地区の環境美化のために活用しようと取り組まれたものです。同会では、10月2日から碓石公民館近くに窯を造り、同15日に初窯入れ。初窯出しでは約400kgの炭ができました。なお、今回できた炭の一部は、12月2日に開催する「碓石ふるさと祭り」で販売される予定です。



▲初窯出しを行ったひま陣会の皆さん



広場

市長随筆



後世に伝えたい
五足の靴の旅

与謝野寛ら五足の靴一行が天草を訪れてから、今年でちょうど100年になります。これを記念した「文芸講演会・シンポジウム」が11月10日、天草市民センターで開催され、直木賞作家の久根達郎氏が講演されました。久根氏は「天草を歩いた5人の旅は、異国情緒にあふれた作品を生んだ日本近代文学の母親であった」と話され、近代文学が生まれるきっかけとなった舞台が天草であったことに大変感動しました。天草ロザリオ館では現在、5人の詩集や直筆の原稿などを展示、紹介する「五足の靴百周年記念特別展」を開催しています。そのオープニングセレモニーの席上、大江小学校の児童が「龍神太鼓」を披露してくれましたが、演奏に先立ってのあいさつの中で、児童の1人が「音楽の本に出てくる北原白秋が100年前に歩いたこの天草に、今住んでいることを誇りに思います」と話してくれました。天草の風景やキリシタンにまつわる歴史などを全国に知らしめ、夢と希望を私たちに与えてくれた「五足の靴」の旅を宝の一つとして、後世に伝えていかなければならないと思いを新たにしています。

天草市長 安田 公寛

受賞おめでとうございます

【農林水産大臣表彰】緒方澄雄さん(栖本町馬場・農業委員)【介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰】[施設の長]開一矢さん(下浦町・介護老人保健施設本渡ケア・ホーム施設長)【社会福祉功労者厚生労働大臣表彰】[児童福祉施設等従事者(特別表彰)]福富茂美さん(有明町楠浦・楠浦保育所調理員)【民生委員優良活動団体】本渡北民生委員児童委員協議会【現代の名工】早井武宣さん(栖本町河内・左官)【海上保安庁長官表彰】濱廣昭さん(楠浦町・灯台の監視)、荒木勝徳さん(新和町・灯台の監視)※名前の後の()内は住所と主要経歴、受賞理由など。



宝島の健康
よず屋

稲田 保さん
(倉岳町棚底・87歳)

—— 毎日の楽しみは？
48頭の牛を飼っています。子どものころから約80年、牛の世話を続けています。えさやりは1日2回。朝は6時から2時間ほどかかり、一仕事した後に朝食です。最近では孫も手伝ってくれます。また、鹿児島や宮崎まで2トン車を運転して牛の買い入れに行くのも楽しみの一つです。

—— 健康の秘訣は？
牛の飼料作物を3ha作っています。その農作業で適度に体を動かすことと、牛のえさやりからはじまる毎日の規則正しい生活が健康の秘訣だと思います。

市民のスポーツ

【第23回九州身体障害者ゲートボール大会】(10月19日、長崎県) [チャンピオン戦] 3位：天草市【リトルリーグ九州連盟秋季野球大会】(11月4日、長崎県) 優勝：牛深リトルリーグ

熊本県福岡事務所発



熊本県福岡事務所 ☎092-737-1313

今回は、福岡市南区の西鉄大橋駅の近くでラーメン店を経営されている、河浦町出身の黒田光四郎さんを紹介しました。黒田さんは、ラーメンの本場・福岡で修業を積まれた後、お店を出されて4年目。

2のゆびと〜まれ



大きなイモがいっぱいどれました

楽しいな！ 野菜づくり
東雲寺保育園

五和地区の東雲寺保育園(梅本綾子園長・全園児66人)では、『きよく・ただしく・あたたかく』を園訓に、心身ともに健康で、思いやりと助け合う心を持った子どもたちの育成に取り組んでいます。現在、園児たちは、畑で自然との触れ合いを楽しみながら、食育についての関心を深めています。10月には、祖父母とのイモ掘り体験を実施。大きなサツマイモがたくさんとれました。今は、春の収穫に向けてお多福豆やたまねぎなどの野菜づくりを行っています。子どもたちも春が待ち遠しいようです。



5月に行われた相撲大会の様子

伝統行事を楽しむ佐伊津っ子
佐伊津小学校

佐伊津小学校(山下弘司校長・全校児童226人)には、春の「相撲大会」と冬の「竹馬会」という大きな伝統行事があります。相撲大会では、男子ばかりでなく女子も土俵に上がり、ねばり強い取組を見せてくれます。大会は、赤白組に分かれての団体戦と学年別で優勝を目指す個人戦を実施。3年生以上の男子は、本格的に「まわし」を着け、気迫のこもった取組が続きます。竹馬会では、うまくバランスをとりながら竹馬を操り、サッカーボールのドリブルや縄跳び、ハイジャンプなどに挑戦します。これらの行事を通して、地域の伝統・文化の良さを知り、地域を愛する子どもたちが育つことを願っています。

ぼくのわたしの校舎自慢

子どもたちの心にも大きな収穫
二浦小学校 長谷哲也校長
二浦小学校(全校児童45人)では、豊かな心を育むため、もち米づくりやサツマイモ・落花生の栽培などの体験活動を行っています。

り、脱穀まで、貴重な体験をしています。収穫したもち米は紅白もちにして、校区民大運動会に参加者全員に感謝の気持ちを含めて配布しました。また、サツマイモは12月に行う収穫祭で「こっぱ餅」にし、学習成果発表会でこれまでお世話になった方々にふるまうことにしています。これらの体験活動は、子どもたちの心に、きっと大きな収穫があると考えています。



土の中から落花生を掘り起こす児童

現在の店は昨年2月にオープンし、店名は天草にちなんで「らーめん四郎」と名付けられました。1日平均約100人のお客さんが訪れ、お昼や土・日曜日には行列が絶えないほどの人気店で、豚骨ベースのスープに、ニンニクやごま油で作った熊本のマー油を使った九州男味しろうラーメンは、今年3月に福岡でテレビ放送された「九州ラーメン総選挙」で1位を獲得しました。黒田さんは「熊本県内や天草出身の方が来店され、応援



▲黒田光四郎さん

していただくことが一番励みになります。私も、天草がもっと元気になるよう盛り上げていきたいです」と話されています。福岡へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。▼報告者・木村英樹(市職員・県福岡事務所派遣)

匠 生業の継承者たち

—職人・左官業の後継者—

「だれにも負けない技術を身につけたい」

ともひろ
小谷 知弘 さん (有明町赤崎・33歳)



父親と2人で左官業を営む。現在、天草島内を中心に瓦替えや壁ぬりなどの仕事に従事。仕事関係者や依頼主などから、まじめで仕事がないと信頼が厚い。

高校卒業後、約10年、天草島内の同業者のところで技術の習得に励んだ。

「子どものころから父親の仕事場に行って手伝ったりしていた。あのころは純粋に楽しかった。左官業を特に継ぎたいと思ったことはなかった。間近で父親の仕事を見てきたことで、自然と父親と同じ左官の道を選んで

いたという。

依頼主の要望を聞き、大工さんたちと打ち合わせをしながら、依頼主が思い描く理想の家を作り上げていく。「お客さんの要望にどれだけ応えられるかが一番頭を悩ませ、神経を使うところ。完成してお客さんに喜んでもらえたときが、何よりもやりがいを感じる瞬間ですね」と語る。

夢は「いつまでも残る家を作ること」。何十年後、何百年後でも安心して住める家づくりを常に意識しながら仕事に取り組んでいる。

「左官の仕事は知恵と腕がすべて」と仕事の厳しさを真剣なまなざしで語る。同世代の左官職人はほとんどいないが、先輩や大工など同じ建築業の仲間、建材店主など、いろんな人と情報をやりとりし、実際にやってみて、改善すべき点は自分で最良の改善策を模索する。毎日が勉強だ。「だれにも負けない技術を身につけたい」。常に自分の腕を磨くことを忘れない職人の頑固さがひしひしと伝わってきた。

最近、多重債務状態で困っている人や自己破産者などを狙って、ヤミ金融業者が大手の信販会社や消費者金融の名称をかたり、「低利融資」「無



▲購入した太鼓などを使って天草西高太鼓の指導なども行っています

西海荒波太鼓の会では、コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業を活用して、三尺の平太鼓のほか、演奏時に着用する法被などの衣装を購入しました。

西海荒波太鼓の会は平成2年に結成。地域への貢献と仲間づくりを柱とした天草西高太鼓の育成や、互いに成長するための太鼓道の精神訓「心・技・体」の鍛錬に日々励んでいます。最近では、会の再構築に向け、西高太鼓の関係者を加えて新体制整備に取り組みしており、今回の助成で太鼓が購入できたことで、会の活動がますます活発になっていくと期待しています。今後も、地域への貢献を目指し、さらに精進していきます。

会定期けいこ日は、毎週水曜日の夜と土曜日の昼です。皆さんも一度、太鼓のけいこをのぞいてみませんか。なお、インターネット上では「西海荒波太鼓の会」のブログも公開しています。

※コミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として(財)自治総合センターが助成するものです。

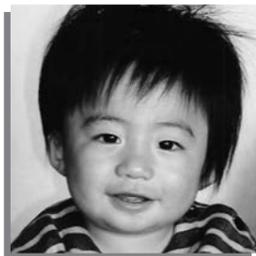
ハッピーバースデー

1歳になりま〜す



稲田 るい ちゃん

有明町下津浦
平成18年12月8日生
父・貴士さん 母・智美さん
喜怒哀楽ストレート。
無垢な瞳がサイコー!



酒井 樹 くん

本渡町本戸馬場
平成18年12月9日生
父・雄一さん 母・美佳さん
おじいちゃん、
甘いのはまだ食べさせないでね!



小川 陸斗 くん

五和町二江
平成18年12月21日生
父・政彦さん 母・睦さん
この笑顔日本一!! みんな僕の仕事
かわいがってくれてありがとう



北 彩乃 ちゃん

佐伊津町
平成18年12月10日生
父・公洋さん 母・真子さん
彩乃の笑顔は最高です。



前田 柚花 ちゃん

志柿町
平成18年12月27日生
父・隆博さん 母・琴さん
楓太兄ちゃん、恭佑兄ちゃん
いっぱい遊ぼーね。



松原 空雅 くん

楠浦町
平成18年12月28日生
父・健二さん 母・美幸さん
悠樹兄ちゃん、夏樹兄ちゃん、
これからたくさん遊んでね。

1月で満1歳になるお子さんを募集します!

●応募期限=12月10日(日)まで(必着)。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631 (住所記載不要) 天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は6人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

みんなの声

大手消費者金融と勘違いしてヤミ金融に融資を申し込んでしまった。対処法は?

ダイレクトメールで融資の案内が届きました。大手消費者金融の業者名だったので、電話をかけ、業者に氏名・勤務先・電話番号などを教え50万円の融資を申し込みました。数日後、業者から電話で「保証料を払ったら融資する」と言われたので不審に思い断ったところ、解約料10万円を請求されました。支払わずにいますが、自宅や職場にしつこく電話がかかってきて困っています。どのように対処したらよいでしょうか。

〔匿名希望〕

【お答えします】
最近、多重債務状態で困っている人や自己破産者などを狙って、ヤミ金融業者が大手の信販会社や消費者金融の名称をかたり、「低利融資」「無

担保融資」などと書かれたダイレクトメールを送りつけてくるケースが増えていきます。社名やロゴマークもそっくりに作ってあるので、ヤミ金融業者とは気づかず借金を申し込み、トラブルに巻き込まれる事例も多く、注意が必要です。

正規の業者は、保証金などの名目で融資を前提に現金を振り込ませることはありません。お金を請求されたときは、1人で判断せず、すぐに振り込まないようにしてください。自宅や職場に電話があっても、保証料などの要求には決して応じないで、はつきりと断ってください。それでも請求が続く場合は、警察署へ相談してください。

なお、市では悪質商法や架空請求などによる被害を防ぐため、本庁(別館)・商工観光課内に消費生活相談員を配置しています。連絡先は☎1111内線2552です。消費生活問題でお困りの人は、お気軽にご相談ください。

〔本庁(別館)・商工観光課商工振興係〕

地域が動く 天草が動く

「太鼓などをコミュニティ助成事業で購入」

西海荒波太鼓の会 (松本泰博会長)

会の定期けいこ日は、毎週水曜日の夜と土曜日の昼です。皆さんも一度、太鼓のけいこをのぞいてみませんか。なお、インターネット上では「西海荒波太鼓の会」のブログも公開しています。

※コミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として(財)自治総合センターが助成するものです。



【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



新聞に、今の若者たちへのメッセージが掲載されていた。「一つひとつの小さな挑戦と達成が自信を植え付け、成長へと導く。この繰り返しさがさらなる挑戦へと駆り立てていく。いやだなと思っても逃げない癖をつけることが大切」と。今の自分は？皆さんは？【空】

最近、「メタボリック」という言葉をよく聞きます。〇〇弁で「どんく腹」のこと。私もその一員に近づいてきました。以前は腹筋が割れてかっこ良かったのに、ヘソの穴がだんだん深くなっています。このままではやばい、早く手を打たないと「爆発」するぞ！【凡】

この1カ月は、取材の連続でした。「天草大陶磁器展」「かっぱ祭り」「五足の靴関連事業」「デコパン収穫祭」「楊貴妃祭り」など…。市内各地で開かれる催しの雰囲気等を感じようと積極的に出かけましたが、あふれんばかりの宝の山に埋もれてしまいそうです。【松】

天草大陶磁器展のパネルディスカッションに女優の宮沢りえさんが登場。ディスカッション後の質問コーナーで美しさを保つ秘訣を尋ねられた宮沢さんは「常にきれいなになりたいと願うこと」と回答。私も心がけてみようかと。まあ、元がかなり違いますけど…。【村】



天草最古の天然温泉『下田温泉』

Vol.22
天草町下田北

下田の温泉は今から700年ほど前、1羽の傷ついた白鷺が、湧き出る温泉で傷をいやしていたことから発見されたと伝えられており、別名「白鷺温泉」とも呼ばれています。泉質はナトリウム炭酸水素塩・塩化物泉で慢性皮膚病や神経痛などに効果があります。下田には、12軒の温泉宿と市の温泉センターがあり、そのすべてが源泉かけ流しです。皆さんも天然温泉につかって、くつろいでみませんか。



「パアテルさんとの出会い」

高砂屋に宿泊した五足の靴一行は翌日、大江天主堂を訪れ、あこがれのパアテルさん（ガルニエ神父）に会うことができました。りゅうちょうな天草弁で5人を迎えたパアテルさんは、昔の信徒が秘蔵していた聖像を彫んだ小形のメタル、十字架の類を見せながら、大江のキリシタンの歴史や現状などについて詳しく教えました。

木下奎太郎はこのときに見せてもらったメタルと十字架をスケッチ（＝右画）していますが、この画は、五足の靴の旅後に北原白秋が初出版した詩集「邪宗門」の挿絵のデザインとして使用されるなど、パアテルさんとの出会いが、5人に強い印象を与えたことがわかります。

